

●●●●●●●●●●●●●●●●●●
掲 示 板 II
 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

東京天文台助手公募

東京天文台では測光部門の助手 1 名を公募します。分野はファブリ・ペロー分光測光など実験観測による広義の恒星物理学の研究。応募資格は大学院修士課程修了以上。応募者は履歴書、論文リスト、論文別刷(共著の場合は分担した役割を明記すること)、研究計画を〒181 三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台長あて、昭和 52 年 8 月 20 日までにお送り下さい。封筒に「助手応募書類」と朱書のこと。
 東京天文台長 末元善三郎

北海道大学理学部物理教室助教授公募

下記のとおり理学部物理教室助教授を公募します。

1. 公募人員: 助教授 1 名。
2. 所属部門: 宇宙物理学研究室。
3. 専門分野: 宇宙物理学理論(プラズマ物理, 相対論を含む広い意味の宇宙気体力学)。
4. 着任時期: 決定後なるべく早い時期。
5. 応募資格: 理学博士の学位を有する者。
6. 提出書類: 履歴書, 論文リスト及び論文別刷, 研究計画書, 推薦書。
7. 締切期日: 1977 年 8 月 1 日必着。
8. 連絡先: 〒060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
 北大理学部物理教室将来計画人事委員会
 田中 一 電話 011-711-2111 内線 2692

●●●●●●●●●●●●●●●●●●
新 刊 紹 介
 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

天文学入門 (カッパブックス)

I. アシモフ著, 平山智啓訳
 光文社, 新書判, 252 頁, 600 円

著者アシモフは広範な知識に裏づけられた科学啓蒙家として, また SF 作家として有名である。本書は純然たる天文学の入門的解説書であるが, 筆致は軽快であり, 大学の講義ではなく茶の間のお話という雰囲気である。内容の骨格は, 恒星入門, 惑星系, 木星と生命, 潮汐力, 大隕石, 惑星軌道計算, オルバースの逆説, ラグランジュ点, 恒星各論, 彗星, 宇宙の年令, などであるが, これらは全て人間生活への関連, 未知なるものへの興味といった観点から肉づけされている。

新地学教育講座 (全 16 巻)

地学団体研究会編

東海大学出版会, A 5 判, 各巻 200 頁前後, 各巻 1,600 円

この講座の目的は, 小中高校の地学教育のための手引き書としての役割であり, カリキュラムに対応して, 地球全般, 地震と火山, 鉱物, 岩石, 地球内部, 地層と化石, 地球の歴史, 日本列島, 地形と土壌, 海洋と陸水, 気象, 自然と人間, などの広い分野をカバーしている。天文関係は, 星の位置と運動, 太陽系, 星と宇宙, となっている。6 月 1 日現在, 一部未刊(第 5, 第 13 巻)となっているので, 詳しい内容紹介は「書評」欄にゆずるが, 「星の位置と運動」では教える立場で必要となる知識を網羅しており, 「太陽系」では最近の宇宙開発の成果も取り入れている。構成は, オーソリティの監修のもとに第一線の研究者が執筆し, これを教育者の立場で書き改めるライターをおく, という形になっている。地学団体研究会は地学教育の関係者で構成され, 30 周年を迎えるとのことである。昭和 30 年には, この講座の前身である「地学教育講座」を刊行している。(中嶋)

●●●●●●●●●●●●●●●●●●
雑 報
 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●

ヴェネラ 9, 10 号の成果

—昨年 6 月に金星に降りたヴェネラ 9, 10 号のデータが *Cosmicheskii Issledovania* 誌の 76 年 9/10, 11/12 月号に挙げて掲載されています。かいつまんで御紹介します。地表データについては, すぐ新聞等で報道されたものと同要らず, 地表の岩が 9 号の場合は若く, 岩の成分はガンマ線分析から玄武岩的, 密度が 2.7-2.9 g/cm³ で地球型惑星はどれも表面は同じらしいなどです。TV 地表写真に並んで, 今回のハイライトは, 金星の雲の物理状態の決定でしょう。着陸船の降下中, または周回軌道船により, 赤外・可視・近紫外波長で測光・分光が行われ, 雲粒子による吸収散乱の様相があらゆる角度から追求されました。前から言われていたように, 雲の上層はもやもやして, はっきりした境界がなく, 光の吸収が始まるへんで地上 70 キロくらい。夜の側の方が昼の側より数キロ低め。50 キロ辺で毎秒 60 メートルくらいの風が吹いている。Marov (私信) などは, 雲粒子の粒子分布を総合的に第 1 表のようにまとめています。

第 1 表 金星雲粒子の状態

ヴェネラ 9 号			ヴェネラ 10 号			
高 度	視界	粒 子	密 度	視界	粒 子	密 度
(km)	(km)	サイズ	(cm ⁻³)	(km)	サイズ	(cm ⁻³)
		(μm)			(μm)	
61 (62)-57	3.0	0.8	400	1.0	1.5	300
57-51	1.7	2.0	70	0.85	2.5	120
51-49	4.0	1.5	60	0.8	2.0	200
49-18	20.0	2.5	2	20.0	2.5	2